

ひがしの

150



6人の外国人が東野小にやってきた! ～英語 Day～

校長 岩井 裕美

2021年から英語教育が大きく変わりました。グローバル化の波が押し寄せる今、異文化を理解し、コミュニケーションを円滑に進める必要に迫られています。子供たちが社会で活躍するところには、より国際的な環境の中、外国の人々と競争・協調して生きていくことになるでしょう。このような背景から英語が使えるということの必然性が高まり、見直しが図られることになったのです。小学校から英語を教科として学ぶようになりました。大学入試共通テストに英語のスピーキングテスト(話すテスト)が導入される予定です。その一方で、中学1年生の約3割が「英語が嫌い」というアンケート結果が出るなど、課題も多いところです。小学校では、やはり、楽しく英語に触れ、英語が分かる・通じる喜びを味わわせたいものです。そのような願いから、12/13、恵那市に勤務する全てのALT(英語指導助手)が東野小におよびし、午前中は子供たちと一緒に授業をうけてもらい、(いつもは教える側です)、午後は英語フェスを運営してもらいました。実は日本語がペラペラのALTばかりですが、極力英語を使い、子供たちに「理解できた喜び」や「伝えられた喜び」を味わわせてもらうようお願いしました。20分休みや放課後も英語を使いながら一緒に遊んでもらい、特別な一日を過ごせた子供たちです。



- ・ダグ先生の自分の好きなものについての話がおもしろかった。 4年生
- ・アンドリュー先生が(縄跳びの)あや跳びが難しすぎて‘What?’ってなっていて、おもしろかった。やりかたを教えた。 2年生
- ・昨日は英語デーで、楽しかったです。給食の時間にはリンジー先生に質問することができました。習ったことが役に立ってよかったなと思いました。そして、5時間目の英語フェスは特に楽しかったです。 6年生